

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-244444

(43)Date of publication of application : 14.09.1999

(51)Int.Cl.

A63B 71/14
A41D 19/00

(21)Application number : 10-064320

(71)Applicant : B WAVE:KK

(22)Date of filing : 26.02.1998

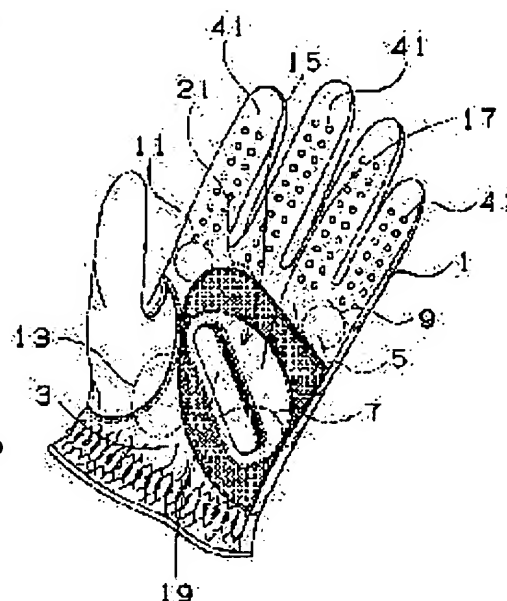
(72)Inventor : MATSUI YOSHIO

(54) GLOVE FOR GOLF AND ITS SET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To select a position to which a grip is placed by forming the soft projecting part of a glove for golf separately from a glove main body and fixing it to the palm part of this glove main body so as to vary a fixing position.

SOLUTION: A sheet-shaped female fastener 5 is sewn to the palm part 3 of the leather glove main body 1 by extending from a right end to a part beyond the lower side of the root of a middle finger and this fastener 5 forms gidding made of synthetic resin on the whole surface of a base material made of synthetic resin. Then, a projecting member 15 is freely attachably/detachably fitted to the sheet-shaped fastener 5 separately from the main body 1 to form a projecting part. Namely, the member 15 is fitted so as to change a fitting position to the part 3 of the main body 1. Thereby, the looseness of gripping force at the time of an impact is supplemented and a shock is sufficiently absorbed to properly select the position to which the grip is placed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.08.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 20.11.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-244444

(43) 公開日 平成11年(1999)9月14日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 6 3 B 71/14

A 6 3 B 71/14

A

A 4 1 D 19/00

A 4 1 D 19/00

E

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-64320

(22) 出願日 平成10年(1998)2月26日

(71) 出願人 397072570

株式会社ビーウェーブ

神奈川県横浜市西区西平沼町1-14

(72) 発明者 松井 良雄

神奈川県横浜須賀町小矢部2-38-4

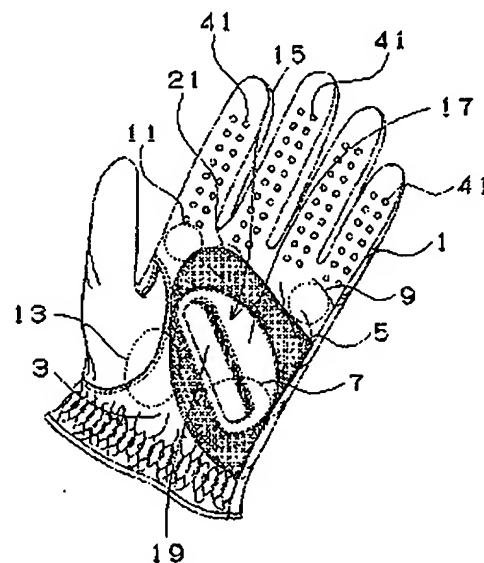
(74) 代理人 弁理士 滋谷 啓朗

(54) 【発明の名称】 ゴルフ用手袋及びゴルフ用手袋セット

(57) 【要約】

【課題】 凸条部を備え、しかもグリップをあてがう位置を選択することができるゴルフ用手袋を提供する。

【解決手段】 革製の手袋本体1の掌部3にシート状縫ファスナ5を縫い付ける。このシート状縫ファスナ5に、シート状縫ファスナを有する凸条部材15を着脱自在に取り付ける。



(2)

特開平11-244444

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 手袋本体と、この手袋本体の掌部に形成された柔軟な凸条部と、を備え、グリップ時にこの凸条部の側面部分がクラブグリップに沿って押圧されるように構成されているゴルフ用手袋であって、前記凸条部は、前記手袋本体とは別体に形成され、かつこの手袋本体の前記掌部に取付位置を変えることができるように取り付けられている、ことを特徴とするゴルフ用手袋。

【請求項2】 手袋本体と、この手袋本体の掌部に形成された柔軟な凸条部と、を備え、グリップ時にこの凸条部の側面部分がクラブグリップに沿って押圧されるように構成されているゴルフ用手袋であって、前記凸条部は、前記手袋本体とは別体に形成され、かつこの手袋本体の前記掌部にファスナを介して着脱可能に固定されている、

このファスナは、前記掌部に取り付けられたシート状雄ファスナと、前記凸条部に設けられたシート状雌ファスナと、から形成され、

前記シート状雌ファスナは前記シート状雄ファスナよりも広い面積を有している、ことを特徴とするゴルフ用手袋。

【請求項3】 手袋本体と、この手袋本体の掌部に着脱自在に取り付けられるように形成されている複数の柔軟な凸条部材と、を備え、

グリップ時に前記掌部に取り付けられた1個の前記凸条部材の側面部分がクラブグリップに沿って押圧されるように構成されている、

複数の前記凸条部材はそれぞれ、異なる高さを有している、ことを特徴とするゴルフ用手袋セット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はゴルフの際に使用するゴルフ用手袋に関する。

【0002】

【従来の技術】ゴルフ競技又はゴルフ練習の際には、ゴルフクラブのグリップが滑らないように、またインパクト時の掌への衝撃をやわらげるために、かつ掌にまめができないように利き腕と反対側に手袋を着用するのが普通である。手袋を着用することによりゴルフクラブのグリップとの間の摩擦力は増大し、掌の汗によってグリップが滑りやすくなることも防止される。ゴルフ用手袋は通常、グリップ時の微妙な感覚が掌に伝わるように薄手のものとして形成される。

【0003】しかしながら、ゴルフの初心者場合にはインパクト時にグリップ力が緩みがちであり、特に元々握力の小さい女性の場合にはインパクト時の衝撃によりグリップが掌内で大きく滑ってしまい、すなわち回転してしまい、ゴルフボールを前方に打ち出すことがなかなかできないことも多い。そして、グリップ力の緩みはゴ

2

ルフ用手袋を着用していてもゴルフの掌に不愉快な振動的衝撃を与えることになる。このような状態が長く続くとゴルフに対する興味が薄れてしまう。また、初心者にはスイング時にゴルフボール周辺のグラントを強打することが多く、特にゴルフ練習場でのグラントの強打による掌への衝撃は大きく、通常の薄いゴルフ用手袋の着用ではゴルフに恐怖感を与えてしまうこともある。この恐怖感を感じると、ゴルフクラブの思い切ったスイングを躊躇するようになって適切な形のスイングが身に付かず、飛距離が伸び悩んだり、打球方向をなかなか矯正できなくなったりする。

【0004】そこで、インパクト時のグリップ力の緩みを補ってゴルフクラブの滑りを防止し、かつ薄手でありながら掌への衝撃力を十分に吸収できるものとして、例えば登録第3042354号実用新案公報には掌部に凸状部を形成したゴルフ用手袋が記載されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】このゴルフ用手袋を使用する場合には、凸条部の指側、すなわち手首と反対側の側面部分をグリップに沿わせてゴルフクラブを握る。凸条部はグリップに押し付けられるのでグリップと手袋との間の摩擦力は増大し、インパクト時に多少グリップ力が緩んでもグリップが掌内で大きく滑ってフェイスが極端に傾くことが防止される。したがって、握力の弱い全くの初心者であってもゴルフボールを前方に打ち出すことが可能となる。また、凸条部がインパクト時あるいはグラント強打時の衝撃を十分に吸収するので、ゴルフに対する興味が薄らぐということがなく、正しいスイングを身に付けることができる。さらに、凸条部に沿ってグリップを位置させることにより、グリップを正しい位置関係で握ることもできる。そして、インパクト時のグリップの僅かな緩みが原因して飛距離が伸び悩み、あるいは打球がスライス又はフックしてゴルフに対する興味が失いかけている中級者がこのようなゴルフ用手袋を用いれば、飛距離を増大させたり打球を正確に打ち出すことができるので、ゴルフに対する向上心を再び強く持つことができる。

【0006】ところが、ゴルフプレーヤの手の大きさは区々であり、凸条部が手袋本体に固定されて形成されていると、ゴルフプレーヤによっては凸条部の位置とグリップをあてがうべき位置とがずれてしまう場合も生じ得る。このような事態に対処するためには凸条部の形成位置をずらした手袋を多種類準備すればよいが、それでは手袋の製造コストが高くなってしまふ。また、グリップをあてがう位置は必ずしも掌の特定位置に限定されるわけではなく、ゴルフプレーヤの好みに応じて、又は指の長短などの手の形状の特徴に応じて、あるいはゴルフプレーヤのスイングの形に応じて変化させることが得策である場合もある。

【0007】そこで、本発明は凸条部を備え、しかもグ

(3)

特開平11-244444

4

リップをあてがう位置を選択することができるゴルフ用手袋の提供を目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明のゴルフ用手袋は、手袋本体と、この手袋本体の掌部に形成された柔軟な凸条部と、を備え、グリップ時にこの凸条部の側面部分がクラブグリップに沿って押圧されるように構成されているゴルフ用手袋であって、前記凸条部は、前記手袋本体とは別体に形成され、かつこの手袋本体の前記掌部に取付位置を変えることができるように取り付けられているものである。プレーヤの手の大きさに合わせて、又はプレーヤの好みに応じて、あるいはスイングの形に適合させて凸条部の取付位置を変更することにより、ゴルフクラブのグリップを適正な位置で握ることができる。凸条部は指の付け根に沿って、あるいは指の付け根にはほぼ平行に長く延びるように設けられるのが普通である。本発明のゴルフ用手袋はより具体的には、凸条部を手袋本体とは別体に形成しておき、この凸条部を手袋本体の掌部にファスナを介して着脱可能に固定することにより構成される。ファスナとしては通常、掌部に取り付けられた可撓性を有するシート状ファスナと、凸条部に設けられたやはり可撓性を有するシート状ファスナとから構成されたシート状ファスナ（シート状メカニカルファスナ：商品名マジックテープ等で表示されるファスナ構造）が用いられ、そして、凸条部の取付位置を変更することができるようにするためには、シート状ファスナをシート状ファスナよりも広い面積を有するように形成しておけばよい。シート状ファスナの面積が広ければ、シート状ファスナのシート状ファスナに対する取付位置を多少変更しても、すなわち取付位置を多少移動させてもシート状ファスナの全面をシート状ファスナに止着することができる。シート状ファスナは掌部の面積の50%乃至80%、好ましくは60%乃至70%の面積を有するように形成され、シート状ファスナはシート状ファスナの面積の10%乃至60%、好ましくは20%乃至40%の面積を有するように形成される。

【0009】ゴルフ競技を行う場合には凸条部が形成されていないゴルフ用手袋を用いなければならないこともある。したがって、練習の進行に応じて凸条部の高さを低くしていくことが好ましい（より好ましくは凸条部あるいは凸部の幅も狭くする）。そこで、手袋本体に取り付けられて凸条部を構成する凸条部材を複数個準備し、これらの凸条部材を高さを異なるものとして構成しておいて、練習の初期段階では最も高い凸条部材を手袋本体に取り付けて大きいグリップ力あるいは摩擦力を確保できるようにし、練習の成果によりインパクト時のグリップ力の緩みが小さくなってきた時に手袋本体に取り付ける凸条部材を高さを低いものに代えて凸条部が形成されていないゴルフ用手袋の使用への橋渡しとするのが効果

的である。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0011】図1は本発明に係るゴルフ用手袋を全体的に示す図である。

【0012】革製の手袋本体1の掌部3には、右端から中指の付け根下側を越える部分にかけてシート状ファスナ5が縫い付けられていて、このシート状ファスナ5は合成樹脂製基材の表面に全体的に合成樹脂製の起毛を形成することにより構成されている。シート状ファスナ5の右端は、手袋本体1の掌部3の右端に沿って掌部3の下端、すなわち小指球部位置7より多少下側から小指球部位置9のやや下側まで延び、上端は指の付け根と平行するように人差し指球部位置11に達するまで延びていて、下端は外側に向かって多少湾曲して親指球部位置13の内端側を通過し、シート状ファスナ5の左端部が丸味を帯びるように上端に接続されている。シート状ファスナ5は外縁部全周を縫い付けることにより手袋本体1に取り付けられているが、特に上端外縁部はゴルフクラブのグリップA（図3参照）との接触によりめくられて縫い付け糸が切断されるおそれがあるために、縫う箇所はできるだけ外縁部よりであることが好ましく、場合によっては基材全体あるいは基材の上端部を接着剤で掌部3に接着してから外縁部全周を縫い付けるようにするのが効果的である。

【0013】シート状ファスナ5には凸条部材15が着脱自在に取り付けられて凸条部が形成されている。凸条部材15は基部17とこの基部17から上方に突出する、幅が狭く細長い凸部19とから構成されていて、凸部19は小指球部位置7の中央から中指球部位置21の下側まで延びるような長さを有している。図2に示すように、凸条部材15の凸部19は、手袋本体1と同一の革製の断面コ字状のカバー23内に柔軟かつ弾力性を有する細長い直方体状のスポンジゴム、あるいは高分子ゴムパッド25を収容して形成され、このカバー23は基部17に取り付けられている。凸条部材15の基部17は、取付開口27が形成された、手袋本体1と同一の革製の基部本体29と、裏面全体にフック状微細突起31が無数状に形成され、基部本体29と同一の広さを有してこの基部本体29に取り付けられたシート状ファスナ33とから形成されている（図2は凸条部材15の断面図）。カバー23は、開口縁部35が基部本体29の取付開口27の周縁部裏面とシート状ファスナ33とに挟まれた状態で縫い付けられることにより（符号37参照）基部17に取り付けられている。シート状ファスナ33はさらに外縁部が縫い付けられて基部本体29に取り付けられているが（符号39参照）、基部本体29とシート状ファスナ33との取付強度を大きくするために接着剤を併用するのが好ましい。なお、図1

(4)

特開平11-244444

5

中符号41は通気孔を示している。

【0014】基部17あるいはシート状縫ファスナ33は、凸条部材15のシート状縫ファスナ5への取付強度を大きくするために比較的広い面積を有するように形成すべきであるが、同時に、シート状縫ファスナ5よりも狭い面積を有するように形成することが必要である。基部17あるいはシート状縫ファスナ33を凸部19を中心として対称状に形成することも可能であるが、基部17の指側に位置する部分が狭い、又は細い場合には、インパクト時にグリップAとの摩擦により基部17の指側に位置する部分がシート状縫ファスナ5から剥がれてしまい、凸条部材15が十分な回り止め機能を果たさなくなるおそれがある。ところが、基部17あるいはシート状縫ファスナ33を全体的に幅の広いものとすると、基部17の面積がシート状縫ファスナ5の面積に接近してしまう。したがって、基部17の指側に位置する部分だけを広く形成するのが効果的である。ここに記載された技術は次の発明に包含される。手袋本体と、この手袋本体の掌表面に形成され、指の付け根にはほぼ平行に延びる幅の狭い凸条部と、を備え、グリップ時にこの凸条部の指側の側面部分がクラブグリップに沿って押圧されるように構成されているゴルフ用手袋であって、前記凸条部は、凸部と、シート状縫ファスナを有し、前記凸部の周囲に広がるシート状の基部と、から形成され、前記手袋本体の前記掌表面には前記凸条部のシート状縫ファスナが着脱可能に止着されたシート状縫ファスナが固定されていて、前記シート状縫ファスナは前記シート状縫ファスナよりも広い面積を有し、かつこのシート状縫ファスナの指側は手首側よりも広い面積を有しているゴルフ用手袋。

【0015】図3は本発明に係るゴルフ用手袋の使用状態を示す図である。

【0016】ゴルフクラブのグリップAを凸部19の指側の側面部分に沿わせてから握る。凸部19の側面部分の位置がグリップAをあてがう位置として適当でない場合には、図4に示すように凸条部材15をシート状縫フ*

6

*ファスナ5から剥がして、図5に示すように凸条部材15の取付位置を適当に変更する。

【0017】図6は別の凸条部材を用いた場合を示す図である。

【0018】凸条部材15を用いたゴルフ練習をしばらく行った後に、凸部43の高さ及び幅がともに凸部19のほぼ2分の1に形成された、別に準備されている凸条部材45を手袋本体1のシート状縫ファスナ5に取り付けてゴルフ練習を行う。凸条部材45を用いたゴルフ練習をしばらく行った後に、凸条部材15が形成されていないゴルフ用手袋を使用してゴルフ練習又はゴルフ競技を行う。この場合には、凸条部材45を取り外した手袋本体1を使用してもよい。そこで、シート状縫ファスナ5は凸条部材15、45を強固に固定できる範囲内でできるだけ薄く形成するのが好ましい。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のゴルフ用手袋を使用すれば、インパクト時のグリップ力の緩みを減らし、かつ衝撃を十分に吸収することができる。また、グリップをあてがう位置を適当に選択することもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るゴルフ用手袋を全体的に示す図である。

【図2】凸条部材の断面図である。

【図3】本発明に係るゴルフ用手袋の使用状態を示す図である。

【図4】凸条部材をシート状縫ファスナから剥がす場合を示す図である。

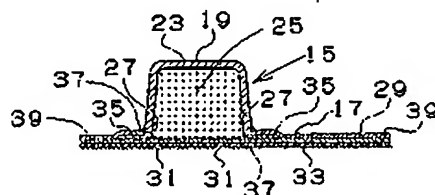
【図5】凸条部材の取付位置を変更した場合を示す図である。

【図6】別の凸条部材を用いた場合を示す図である。

【符号の説明】

| | |
|---|------|
| 1 | 手袋本体 |
| 3 | 掌部 |
| A | グリップ |

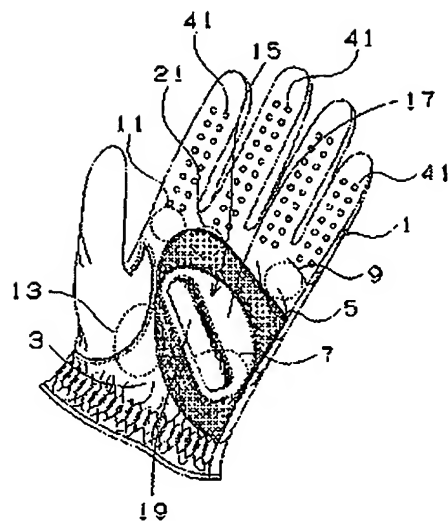
【図2】



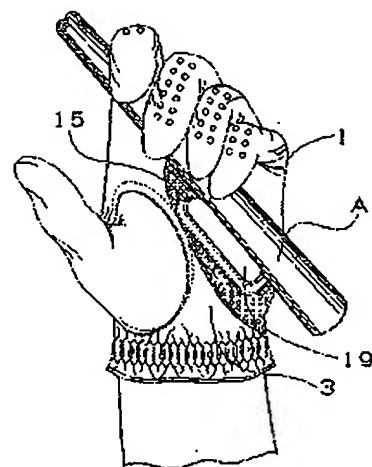
(5)

特開平11-244444

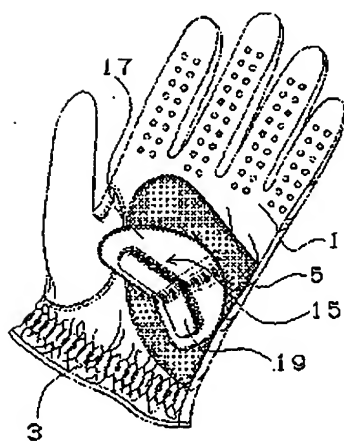
【図1】



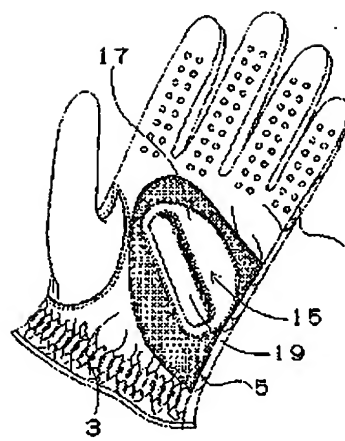
【図3】



【図4】



【図5】



(5)

特開平11-244444

【図6】

